

令和5年度 外国語科 「論理・表現Ⅱ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組
教科書	Genius（大修館書店）	副教材等	Steady Steps for Writing(数研出版)、Dual Scope 総合英語(数研出版)、Vintage（いっずな書店）、桐原AIエッセイライティング（桐原書店）

1 学習の到達目標(SAKURA Can-Do List)

話すこと(やり取り):ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを十分な補足説明つけて伝えたり、論理的に伝え合ったりすることができる。
話すこと(発表):ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えたりすることができる。
書くこと:ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを補足説明とともに多様な語句や文を用いて、複数パラグラフで論理的な文章構成で書くことができる。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述・重点目標)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (主な言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
						聞	読	取	発	書		
前期	4	「書くこと」 ・行きたい国と行きたい理由の説明文を説明することができる。 ・おすすめの本と理由を紹介することができる。	Part 1 Unit 1 What Country Do You Want to Go To? Unit 2 Book Report	Pair Talk / Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
		「書くこと」 正しい時制を用いて文を書くことができる。	Steady Steps Chapter 1, 2	Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
		「書くこと」 英語のパラグラフ構成を理解した上で、科学技術と生活についてのパラグラフを例を示しながら書くことができる。	Part 2 Unit 1, 2 What Makes You Happy / Does Technology Make Our Lives Better	Pair Talk / Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
	5	「書くこと」 態や比較に注意しながら文を書くことができる。	Steady Steps Chapter 8, 14	Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
		「書くこと」 スマートフォンは有益かどうかについて、自分の意見を理由と共に書くことができる。	Essay Writing	Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
		第1回考査			知 思 態					○	3	ライティング力を評価する問題
	6	「書くこと」 ・興味のあるニュースについて説明することができる。 ・スポーツに対する意見を述べることができる。	Part 1 Unit 3 What News Are You Most Interested In? Unit 4 What Do You Think about Sports?	Pair Talk / Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
		「書くこと」 不定詞・動名詞を正しく用いて文を書くことができる。	Steady Steps Chapter 9, 10	Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
		「書くこと」 時系列を表す言葉を用いて、自分史を書くことができる。	Part 2 Unit 3 My Personal History	Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート Writing Test
	8	「話すこと」 制服を廃止すべきかどうかについて討論することができる。	Part 4 Unit 1 Debate	Debate	知 思 態			○			3	活動の観察 ワークシート
		第2回考査			知 思 態					○	3	ライティング力を評価する問題
		「書くこと」 ・地元の料理を紹介することができる。	Part 1 Unit 5 Must-Try Local Foods	Pair / Group talk, Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート
	9	「書くこと」 助動詞を正しく用いて文を書くことができる。	Steady Steps Chapter 4, 5	Writing	知 思 態					○	3	活動の観察 ワークシート

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の観点	領域					評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
						聞	読	取	発	書		
後期	10	「書くこと」 都会と田舎のどちらに住むべきかについての 意見を書くことができる。	Part 2 Unit 4 City or Country?	Pair Talk, Writing	知					○	3	活動の観察
					思					○		ワークシート
					態					○		
		「書くこと」 ・悩みを抱えている人への励ましの手紙を 書くことができる。	Unit 6 Letter of Encouragement	Writing	知					○	3	活動の観察
					思					○		ワークシート
					態					○		
	11	「書くこと」 関係詞を正しく用いて文を書くことができ る。	Steady Steps Chapter 12, 13	Writing	知					○	3	活動の観察
					思					○		ワークシート
					態					○		
		「書くこと」 運動は自宅でするかジムでするかについて自分の考えを述 べることができる。 「話すこと（やりとり）」 動物実験の是非について、設定された立場から話し合うこ とができる。	Essay Writing Part 3 Unit 2 Role Play	Pair / Group Talk, Writing	知			○		○	6	ワークシート
					思			○		○		Writing Test
					態			○		○		
	第3 回 考 査	第3回考査			知					○	3	ライティング力を評価する問題
					思					○		
					態					○		
	12	「書くこと」 仮定法を正しく用いて文を書くことができ る。	Steady Steps Chapter 6, 7	Writing	知					○	3	活動の観察
					思					○		ワークシート
					態					○		
	1	「話すこと（やりとり）」 留学の是非について議論することができる。	Part 3 Unit 3 Should Students Study Abroad?	Pair / Group Talk, Discussion	知			○			3	活動の観察
					思			○				ワークシート
					態			○				
		「書くこと」 分詞や否定表現を正しく用いて文を書くこ とができる。	Steady Steps Chapter 11, 15	Writing	知					○	3	活動の観察
					思					○		ワークシート
					態					○		
	2	「書くこと」 教育についての意見を複数パラグラフで書 くことができる。	Part 5 Unit 3 Thinking About Education	Writing	知					○	3	活動の観察
					思					○		ワークシート
					態					○		
		「書くこと」 人工知能に関する意見を書くことができ る。	Essay Writing	Writing	知					○	3	活動の観察
					思					○		ワークシート
					態					○		
	第4 回 考 査	第4回考査			知					○	3	ライティング力を評価する問題
					思					○		
					態					○		

### 3 評価の観点

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
知識・技能			説明や意見などを伝えるための多様な語句や表現を身につけている。		説明や意見などを表現するための多様な語句や文を身につけている。
思考・判断・表現			ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを十分な補足説明つけて伝えたり、論理的に伝え合ったりできる。		日常的・社会的な話題について、説明や意見などを補足説明とともに、複数パラグラフで論理的な文章構成で書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度			日常的・社会的な話題について、情報・考えを十分な補足説明つけて伝えたり、論理的に伝え合ったりしている。		日常的・社会的な話題について、説明や意見などを補足説明とともに論理的な文章構成で書いている。

### 4 評価の方法

定期テスト、小テスト、課題テスト、ライティングテスト、ワークシート・課題提出

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

日本語をそのまま英語に訳すのではなく、英語の構造を理解した上で、英語の発想で話したり、書いたり出来るようになりましょう。そのためには、授業では活動に積極的に取り組み、場面毎に適切な表現と手法を使って話す、書く力を身に付ける機会とし、一方で、家庭学習ではコミュニケーション能力を支える文法固めに取り組みましょう。また、定期的に課題が出されますが、取り組む際には教科書やデュアルスコープ総合英語をきちんと読み、必ず期日までに終わらせましょう。受け身で授業を受けているだけでは力はつきません。辞書、参考書をフル活用しながら、自律した学習者を目指してください。